

平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月2日 (金)

会場 多賀中学校体育館

【女子の部】 第1日目 Dコート 第3試合

チームA 昭学院 千葉	120	{ 30 1Q 21 32 2Q 18 31 3Q 21 27 4Q 20 OT	80	チームB 京都明徳 京都
--------------------------	-----	---	----	---------------------------

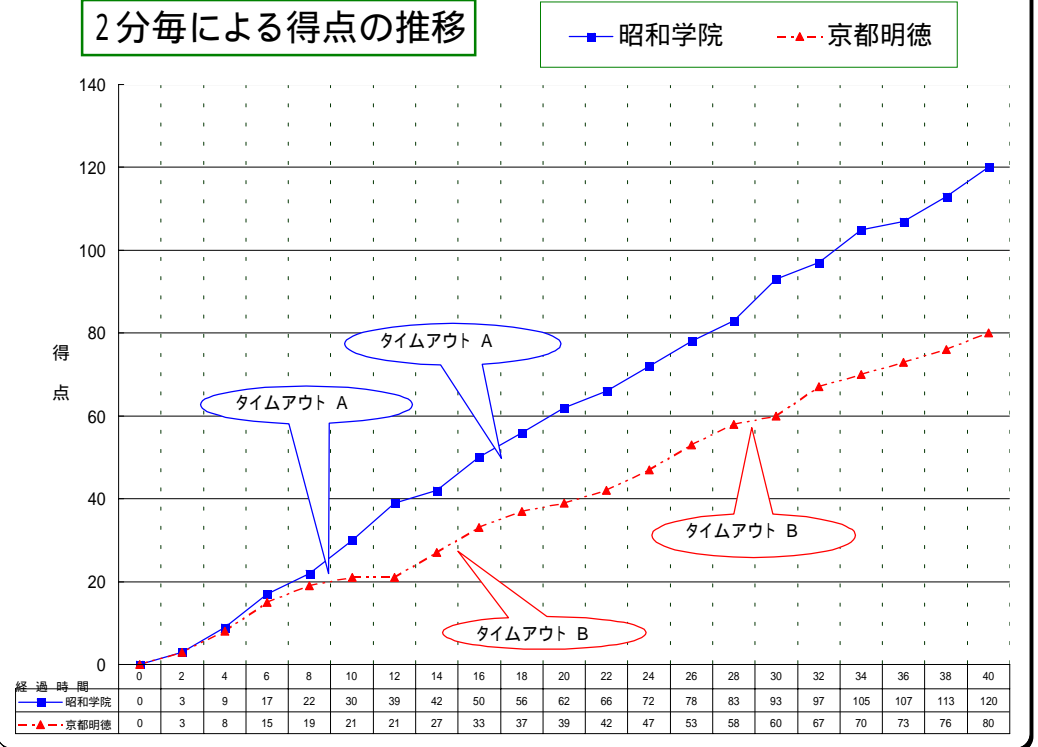
昭学院

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	南田 彩花	14	2	3	4	8	0	0	2	0	3	8	3	4	0	34
5	信田 真澄	0	0	0	0	2	0	2	1	1	2	1	0	1	0	4
6	馬場麻紗美	9	1	3	1	3	4	4	1	1	0	2	1	0	0	5
7	増田 莉沙	6	0	1	3	4	0	0	2	1	0	2	0	0	0	7
8	野村 由希	30	2	3	10	22	4	5	2	8	1	2	1	1	2	29
9	浦邊かおり	8	0	1	3	7	2	2	0	1	4	3	1	2	0	32
10	鈴木麻友美	17	0	1	8	20	1	2	2	3	5	2	3	4	1	31
11	伊藤 奈月	17	1	1	7	10	0	0	4	0	1	2	2	3	0	19
12	原田 綾子	14	0	0	6	12	2	2	2	5	3	2	1	0	2	27
13	登藤 香織	0	0	0	0	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4
14	上野 貴代	4	0	0	2	5	0	2	0	2	0	0	1	1	0	5
15	岡野佳麻里	1	0	0	0	1	1	2	0	0	1	0	1	0	1	3
コーチ	鈴木 親光								0							
合計		120	6	13	44	97	14	21	16	23	21	24	14	16	6	200
確率			46.2%		45.4%		66.7%			計	44					

京都明徳

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	曾倉 安代	22	2	15	8	9	0	0	5	1	1	8	5	0	1	35
5	大日 茜	17	1	3	6	13	2	2	5	4	2	3	1	1	3	38
6	宇留野千晶	4	1	12	0	1	1	2	0	0	2	3	2	1	0	26
7	大日 緑															DNP
8	毛利 瞳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4
9	大下 知子															DNP
10	武村 愛															DNP
11	速水 千佳	9	0	0	3	6	3	6	4	2	2	3	0	0	1	16
12	松下 夕美	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	7
13	小儀 智代	0	0	2	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	1	12
14	藤田 季保	19	5	13	2	4	0	0	3	0	1	4	7	6	0	35
15	小儀 貴代	9	2	6	1	2	1	2	3	0	1	4	1	3	0	27
コーチ	長壁 末美								0							
合計		80	11	51	20	36	7	12	23	7	10	28	17	11	6	200
確率			21.6%		55.6%		58.3%			計	17					

2分毎による得点の推移



戦評

激しいマンツーマンディフェンスにアーリーオフェンスという、似たような特徴を持つ両チーム対決となったが明暗を分けたのはリバウンド力の差であった。

前半、高さで劣る京都明徳はそのハンデを補おうと、激しいディフェンスを展開する。その代償か、早い内からファウルが重み、第2P半ばにしてすでに主力が4つファウルとなってしまった。

対する昭学院は、常に#8野村、#10鈴木、#12原田がリバウンドに絡み、ゴール下を支配した。加えて#11伊藤の精度の高いシュートで点差を広げ、効果的に決まる#4南田の3Pシュートも相まって、62-39昭学院リードで前半を折り返した。

後半、明徳はディフェンスのラインを更に上げてきた。これが巧を奏して昭学院のミスが増える。しかし、明徳の#14藤田を中心とする、カットインから合わせへ、というダイナミックな攻撃で反撃を試みるも、リバウンドを押さえられてリズムに乗れない。また、ディフェンスラインを上げたことで、逆に昭学院の速攻が増え、前半同様の強力な昭学院インサイド陣、#4、#11の正確なシュートで、点差はむしろ広がってしまった。

第4P、明徳は#14、#4曾倉、#6宇留野らの3Pシュートで反撃するも、最後まで流れが変わることはなかった。結局120-80の大差で、昭学院が2回戦に駒を進めた。

主審 久保裕紀

副審 山田健一

記入者 田原司郎